



Member of
United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO
Associated
Schools



朝風

教育目標 自立 探究 貢献

～ 志高く 自ら学び 未来を拓く ～

令和3年度
学校報No.13
令和3年6月24日
大仙市立
大曲南中学校

※HP随時更新しています

◇郡総体の健闘を讃えて

18日(金)、19日(土)の両日に渡って行われた大曲仙北中学校総合体育大会で、本校の生徒の皆さんは大健闘しました。その結果をお知らせします。

- 野球…南外中・桜木内中合同チームと対戦し、1対4で敗れました。
- 卓球…3人が個人戦に出場しましたが、いずれも1回戦で敗退しました。
- バスケット…大曲南中・協和中・仙北中の合同チームで試合に臨みましたが、予選リーグ2戦2敗で決勝リーグには進めませんでした。
- 剣道…女子個人戦 第2位佐々木愛実(3年)
第3位寺田和心(2年)
男子個人戦 ベスト8橋本暖(2年)
女子団体戦 第3位
男子団体戦 第4位



剣道男子団体戦

県大会出場者は、剣道の女子個人戦と陸上競技の2年男子100M、男子低学年リレーです。県大会での頑張りに期待します。

19日のテレビ番組で、下北沢成徳高校バレーボール部が取り上げられていました。木村沙織、大山加奈、荒木絵里香、黒後愛などオリンピックや世界選手権、W杯などで日本代表メンバーとして出場している選手を多数輩出している学校です。そのチームを率いる小川良樹監督が「『勝つ指導』はしていない。『育てる指導』をしている。」と答えていたのが心に残りました。「将来大人になっても通用する人づくりをしている」と言うのです。これこそ部活動の意義であると思います。本校でも、部活動の主旨は「人づくり」であると考えています。

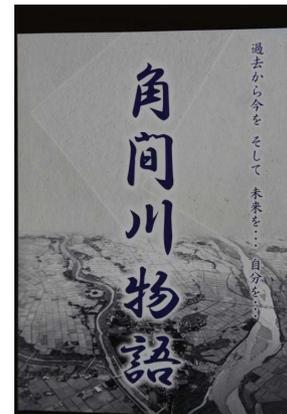
人生いつも「勝者」でいるとは限りません。「敗者」となることの方が多いでしょう。「勝者」となって学ぶことより「敗者」となって学ぶことの方が多いと思います。3年生の皆さんは、部活動でたくさんのことを学びました。「敗者」になったことを嘆いたり、他人(チームメイト、親、監督等)のせいにしたりすることなく、部活動で得たものをこれからの人生に役に立てるよう精進してほしいと思います。

◇16日の朝日新聞から

角間川地域活性化協議会が「手づくり郷土賞(国土交通大臣表彰)」を受賞したという記事が、16日の朝日新聞に掲載されていました。本地域が全国的な表彰を受けることはうれしいことです。また、5日には、角間川の歴史をまとめた「角間川物語」の記事が秋田魁新報に掲載されていました。「角間川物語」は、本校でも40冊いただきました。地域と連携した教育活動を展開することが本校の大仙教育メソッドです。地域の力を借りて学習活動を進めるとともに、地域のために何ができるのかを考え、実行していきたいと考えています。「地域活性化に寄与できる子どもの育成」を目指します。



16日の記事(HPにもアップしました)



角間川物語の表紙